

2・11 埼玉県民集会

「建国記念の日」不承認

軍国主義思想の復活に反対し、思想と信教の自由を守る



「スパイ防止法案と 治安維持法」

戦前の思想弾圧で猛威を振るった治安維持法。制定は今から100年前です。

歴史研究者の荻野富士夫さんは、同法に基づく思想統制を約40年前から研究してきました。「内なる敵」を排除した歴史から学べることは何か。スパイ防止法の制定を求める声が政界で高まる今こそ、あらためて一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

2月11日(水) 13:30-

場 所 埼玉教育会館2階

参加費 300円

13:00

開場

13:30~15:30

基調と講演



おぎの ふじお

終了後、浦和駅までパレード

講師：荻野富士夫さん

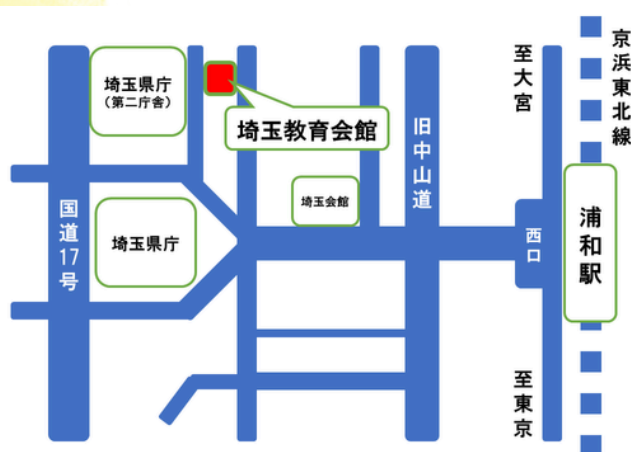
1953年生まれ 埼玉県旧菫蒲町出身
小樽商科大学名誉教授

主要図書

『治安維持法の歴史』シリーズ全6巻
六花出版、2021~23年

『検証 治安維持法—なぜ「法の暴力」
が蔓延したのか』平凡社新書、2024年

『治安維持法100年』歴協教と共編、
大月出版、2025年 など著書多数



2・11埼玉県民集会実行委員会

埼玉県歴史教育者協議会 / 埼玉県教職員組合 / 埼玉県高等学校教職員組合 / 埼玉県私立学校教職員組合連合 / 日本共産党埼玉県委員会 / 埼玉県平和委員会 / 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟埼玉県本部 / 新日本婦人の会埼玉県本部 / 埼玉母親大会連絡会 / 日本民主青年同盟埼玉県委員会 / 日本国民救援会埼玉県本部 / 日朝協会埼玉県連合会 / 埼玉県地域人権運動連合会 / 日本機関紙協会埼玉県本部 / 埼玉県革新懇 / 埼玉県労働組合連合会 / 埼玉AALA連帯委員会 / 埼玉映画文化協会 / 自由法曹団埼玉支部 / 自治労連埼玉県本部 / 埼玉県教育研究サークル連絡協議会 / さいたま教育文化研究所 / 埼玉県民主医療機関連合会 / 全日本年金者組合埼玉県本部 / 安廃廃棄埼玉県実行委員会 / 原水爆禁止埼玉県協議会

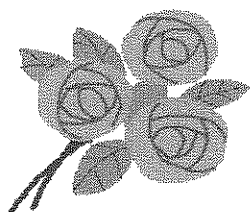
事務局：埼玉県教職員組合

TEL：048-824-2511

MAIL：saikyouso@kyouiku-net.org

「建国記念の日」とは？

「神話と伝説」によるもので
科学的な根拠はありません



いま「建国記念の日」とよばれ、祝日となっている二月一日は、戦前・戦中は「紀元節」とよばれていました。これは一八七四（明治七）年に明治政府が決めたもので、初代の天皇・神武が即位した日とされてきました。

しかし、これは「神話と伝説」によるもので、科学的根拠はまったくなく、いまでは神武天皇は架空の人物であることがはっきりしています。

当時の「紀元節」は、天皇を神聖化する「大日本帝国憲法」発布の日であり、同時に日露戦争をはじめとして戦争政策を鼓舞し、軍国主義をあおる「祭日」となっていました。

かつて、日本国民のみならず、アジア諸国をはじめとする他国の人民二〇〇〇万人の尊い生命を奪ったあの侵略戦争に、日本国民をかりたてたイデオロギーの基礎になったものが「紀元節」だったのです。

敗戦によって天皇が「人間宣言」を行いました。これによって「神話と伝説」は否定され、「紀元節」もその根拠を失いました。平和主義、

国民主権の新しい憲法のもとでは、当然のことながら「祝日」ではなくなったのです。

ところが、朝鮮戦争が起る前後から政府は軍備拡大にのりだします。これと並行して「紀元節」を復活させようとする動きを強め、一九六七（昭和四二）年に広範な国民の反対を押し切って「建国記念の日」を制定したのです。

以来、推進勢力は毎年「建国記念の日を祝う式典」を開き、閣僚や国会議員も参加しようとする動きもあります。

こうした動きに対し、かつて侵略をうけた国々では、不信と警戒を強めています。

一方、最初の「建国記念の日」以来、言論や表現、思想・信条の自由を侵すものとして毎年二月一日には、全国各地で「建国記念の日」不承認、再び戦争への道を歩ませるな、と多くの労働組合・民主団体・学者・研究者・ジャーナリスト・宗教家などが、実行委員会をつくり抗議集会を開いています。

